

# 『PCA hyper 会計シリーズ』バージョン1.0、リビジョン6.00 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

SCY202203

※『PCA Client-API』や他のカスタマイズ(アドオン)プログラムをご利用のお客様は、アップデート後のカスタマイズプログラムの動作への影響について、事前にご確認ください。  
動作に問題ないことを確認後、アップデートを実行してください。

## ■互換性に関する変更点の有無について

### ◇データ領域の更新について

データ領域のバージョンを「7.17」に更新しました。

以下のデータ構造を変更しました。

- ・eDOC連動
- ・eDOCアップロード領域
- ・eDOCアップロード設定

以下のテーブルを追加しました。

- ・セグメント1グループ
- ・セグメント1グループ要素
- ・セグメント2グループ
- ・セグメント2グループ要素
- ・セグメント3グループ
- ・セグメント3グループ要素

新規領域作成時に登録するデータを変更しました

- ・消費税申告書設定項目

### ◇APIの変更について

以下のデータ構造を拡張したため、エンティティバージョンを更新しました。

- ・会社基本情報(エンティティバージョン「700」)

以下のデータを追加しました。

- ・セグメント1グループ
- ・セグメント2グループ
- ・セグメント3グループ
- ・eDOC連動

元帳、試算表で帳票の集計の条件指示にセグメント1～3グループを追加しました。

### ◇汎用データの変更について

以下の汎用データレイアウトを変更しました。

- ・会社基本情報(Ver10)
- ・総勘定元帳等
- ・合計残高試算表

以下の汎用データレイアウトを追加しました。

- ・セグメント1グループ
- ・セグメント2グループ
- ・セグメント3グループ

## ■主な機能強化・仕様変更点

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

※ご利用のシステムにより、一部ご利用になれない機能があります。

### ◇リブランディング対応

・PCAクラウド PCAサブスクのリブランディングに対応しました。

### ◇『PCA Hub eDOC』連携対応

・弊社の新しい文書管理システムである『PCA Hub eDOC』と連携するように各処理を修正しました。  
機能の詳細、設定手順は「『PCA Hub eDOC』との連動について」(PDF)をご覧ください。

### ◇パスワードレス認証、認証アプリケーションを利用したワンタイムパスワード認証対応

・独自認証の認証方式に「パスワードレス認証」と、認証アプリケーションを利用した「ワンタイムパスワード認証」を追加しました。

機能の詳細、設定手順は「パスワードレス認証・ワンタイムパスワード認証について」(PDF)をご覧ください。

### ◇セグメントグループ機能を搭載しました。

・「総勘定元帳」「現金出納帳」「預金出納帳」「補助元帳」「取引先元帳」「科目別摘要別明細表」「補助科目別摘要別明細表」「取引先別摘要別明細表」「合計残高試算表」で集計条件に指定できるようになりました。

### ◇伝票明細と『PCA Hub eDOC』のドキュメントをリンクできるようにしました。

・「振替伝票入力(コクヨ式)」「振替伝票入力(連想摘要)」「仕訳伝票発行・チェックリスト」「仕訳帳」などで、明細単位で『PCA Hub eDOC』と連動できるようになりました。

### ◇国税電子申告のバージョンアップに対応

・国税電子申告・納税システム (e-Tax) の「令和2年4月1日以後終了する課税期間分(4年1月以降ご利用分)(手続きバージョン 20.0.1)」の様式に対応しました。  
・通知希望区分(加算税)に対応しました。

### ◇通知希望区分(加算税)への対応について

・e-Taxの仕様変更により、「加算税の賦課決定通知書」を書面で受け取るか、e-Taxによる通知で受け取るかを選択できるようになりました。  
・「消費税申告書・付表」の「電子申告データ出力」-「基本情報」に、選択するための項目を追加しました。

以上